

# 小学校英語の課題

都麦出版 代表 鳥居 実

2023年1月31日の日経新聞には、「小学校英語の課題」というタイトルで神田外語大学教授の田中真紀子氏の論文が掲載されています。

※その論文の要旨は次の通りです。

- (1) (日本語の習得過程を考えてもわかるように) 言語の習得の順番は「聞く→話す→読む→書く」である。
- (2) 小学校英語では「英語が使える日本人」を目標としており、「聞く→話す」については問題ない。
- (3) ここで注意が必要なのは「『読む』という技能は聞いたり話したりしているだけでは、決して習得できない」ということだ。
- (4) そのために「読む」という技能を学校教育の中で丁寧に教える必要がある。そして、そのためには、フォニックス (文字と音の関係を理解させる指導) に時間をかけるべきで、これが欠けてしまった生徒は英語が読めず、その後の英語学習につまづいてしまう。

※以上のことから田中氏は、英語が読めない児童は、英語の音を表す文字が書けず、その結果、英語を書く技能も身につかないと述べておられます。

また、論文には次のような文章も掲載されています。「文科省が2012年に実施した調査では、英語を勉強した中学1年生の約8割が、小学校で英単語や文を読んだり書いたりすることをもっとしておきたかったと答えている。読み書きは中学校の英語に直結する技能であり、小中の円滑な接続のカギだ」と。

以上の見解について、皆様のご意見はいかがでしょうか。

手前味噌になりますが、私共もこの意見に大賛成で、この度の『中学英語へのかけ橋』という教材も「中学入学までに基本的な読み書きと英文法を習得しておいた方が、中学英語にスムーズに入っていける」との考えから出版したものです。

また、教材展示会などで色々な先生とお話していると、英語力を飛躍的に伸ばし、英検などで目覚ましい成果を上げている方に出会います。その先生方の中には、次のような指導法をとられている方が多くおられます。

- (1) 小学5年生のうち小社刊『アルファベットの名人』などでフォニックス（英単語の読み方）を徹底的にマスターさせてしまう。
- (2) 小学6年生からは小社刊『ステップ式英語1』などで英単語や文章を書くことに慣れさせ、英文法の基礎を固めてしまう。

※以上の指導を確立させておけば、中学に入っても一般の生徒に比べ、英語力を持つ生徒を輩出できるようです。

ただし、ここでの大切なポイントがあります。

それらの塾では、その方針を保護者に啓蒙し、理解して頂き、決して小学校英語の補習的なことは行わず、塾独自の方針を貫き通しているということです。初めのうちは、「その方針を通すのは地方では難しい」「『塾に通うのは、中学に入ってからでも遅くない』という保護者ばかりなので、小学生が集まらない」などという現状もあったようです。しかし、そこで踏ん張り、そのような風潮を突破していくことが、迫りくる少子化の難局を乗り越えていく切り札になるのかもしれませんが。

**新刊** 2022年11月発刊

中学入学前の英語準備テキストとして最適！

# 中学英語への かけ橋

A4版, 72ページ  
別冊ホームワークプリント, 解答集付

〔 内容のご案内  
とページ見本 〕



つむぎ  
**都麦出版**

Tel(075)211-5578

Fax(075)211-8605

〒602-0837 京都市上京区塔之段通今出川上る1丁目下塔之段町508

フリーコール

**0120-41-9031**

<http://www.tsumugi.ne.jp>

E-mail ; [info@tsumugi.ne.jp](mailto:info@tsumugi.ne.jp)

# 【1】はじめに

## 1. 2021年度からの英語新教科書の内容

皆様ご承知のように、2021年4月からの中学校の英語教科書は、基礎的な英語力は小学生のうちに身につけているという前提で作成されています。そのため、中1からの英語の授業もその方針で進められています。

また、これまでの学習指導要領で目標とされてきた英単語数は、中学で約1200語でした。一方、新しい学習指導要領では、小学校で600～700語、中学校で1600～1800語となりました。その結果、生徒たちは小・中学校合わせて、従来の約2倍の2400語程度の英単語を覚えねばなりません。

さらに、中学1年の教科書では、以前よりずっと早い単元から、be動詞、一般動詞、疑問詞、助動詞canなどが一度に登場します。そのため、中1になってすぐの段階から英語嫌いの生徒を生み出す懸念もあります。

## 2. 英語を得意とする生徒を増やすには？

塾としては、前述のような現状を変革し、英語を得意とする生徒を増やしていくには、どのような対策を立てたらよいのでしょうか。

対策としては、小6の早い時期から、次の2つを盛り込んだ小学英語コースを設け、中学に入るまでにそれら2つの力を自塾生にマスターさせてしまうことが考えられます。

### (1) 基本となる英単語をすらすらと読み書きできるようにしておく。

5ページには、京都府内の某中学校1年生の1学期中間テスト(5月)と、1学期期末テスト(6月下旬)の概要を掲載しています。これらをご覧になってもお分かりの通り、小学校のうちに「曜日や月の名前、季節、数字など」の読み書きをマスターさせてしまうことが必須です。(これらの単語は小学校では一応扱いますが、単語の読み書きまでは求められず、口頭で答えられる程度で終わります。)

このような現状を考えると、小学校の英語教科書に登場する英単語のうち、中学校でも使われる単語の読み書きは、小学校のうちにマスターさせておくことが大切であると言えます。それは中学校に入ると、新たに覚えるべき単語がさらに多く出てくるため、単語の暗記だけでお手上げとなってしまうという状況があるからです。

なお、単語の読み書きをスムーズに行うためには、「フォニックス」という理論を通じて「英単語の読み方のルール」を指導する方法が効果的です。

## (2) 基本英文法のマスター

小学英語では、「英語という言葉」に子供たちを慣れ親しませることが主目的です。その結果、基本的な英文法を学んだり、英文を書いたりする場がありません。よって、小学校の英語では子どもたちは音声だけを頼りに、型にはまった片言の英語を覚えるということに終始します。

では、中学校に入り、1～2か月しかたたないうちに行われる1学期の中間テストでは、どんな問題が出されるのでしょうか。そのテストでは、5ページに掲載されているような英作文の力が求められるのです。その内容は、「自己紹介の英文を5文以上で書きなさい。」という大変高度なものです。

このような現状を打破するには、中学入学までに塾生たちにどのような力を身につけさせておくべきでしょうか。

それは片言の英文ではなく、「基本的な英文法に則った『正しい英文』を書けるようにしておく」ことです。この力を身につけることは、学校でも家庭でも不可能に近く、塾でしかできないことです。本書は塾の指導を通じ、英作文の力を身につけられることを最終目標にして、編集・制作されました。

## 【Ⅱ】 中 1 生の定期テストの実態

### 1. 1 学期中間テストの問題 (5 月下旬実施)

以下は新指導要領になってから出題された、中 1・1 学期中間テストの内容です。

(従来の指導要領に則ったカリキュラムで言えば、これらの内容は、中 1 の 2 学期のテストレベルとほぼ同一です。)

#### ・ 語彙

(記述) make や happy などのスペリングを書けることが要求される。

(選択式) 月、曜日の英単語をマスターしておくことが必須。

#### ・ 長文読解 (60 語程度の対話文)

三人の生徒がそれぞれの趣味について語っている。I like music. I'm a baseball fan. など、be 動詞と一般動詞の文の理解を求められる。基本的な単語の意味の把握も大切である。

#### ・ 英作文

自己紹介を英語で 5 文以上で書かせる。be 動詞や一般動詞を用いて、簡単な文章が作れることが求められる。

### 2. 1 学期期末テスト問題 (6 月下旬～7 月上旬実施)

be 動詞、一般動詞の肯定文、否定文、疑問文を自在に使いこなせる力が求められる。さらに助動詞 can も加わる。(従来の指導要領に則ったカリキュラムで言えば、これらの内容は、中 1 の 2 学期末か 3 学期のテストレベルとほぼ同一です。)

#### ・ 整序

be 動詞、一般動詞、助動詞 can を自在に使いこなし、英語で文章をつくれる力が問われる。

(例) 彼女はおにぎりを作ることができます。[rice balls / she / make / can / .]

#### ・ 書きかえ

be 動詞、一般動詞、助動詞 can の文について、否定文、疑問文を自在に作れる力が問われる。

(例) You need a ticket for the game. [「その試合にチケットは必要ない」と否定する文に]

#### ・ 長文読解 (100 語程度の会話文)

初対面同士の生徒の自己紹介。分量の多い会話文を理解する力が求められる。be 動詞、一般動詞、can の文、疑問文が含まれた英文を自在に読み取る力が求められる。また、「『イギリス出身の料理が得意な人』のように、○○のことを日本語で説明せよ」など、国語力も要求される。

# 【Ⅲ】「中学英語へのかけ橋」の概要と特長

## 1. 概要

### (1) 対象学年とレベル

小学5・6年生対象。中学入学までにマスターしておきたい英単語と英文法の基本を修得させるためのテキストです。

なお、その目的を達成させるために、自宅学習用の「ホームワークプリント」も用意されています。

### (2) 仕様

本体はA4版、72ページ。別冊として解答集（17ページ）とホームワークプリント（36ページ）付。

### (3) テキストの内容

#### ①小学校～中1レベルの重要英単語をトレーニング！

小学生及び中学1年生用に使われている主要英語教科書を徹底分析し、それらに共通する重要単語約380語を収録しています。さらに、それらの単語を「サキドリ英単語」コーナーで、読み方やスペリングをトレーニングさせます。これによって、中学入学前に重要英単語の読み書きがマスターできます。

#### ②基本英文法を段階を追って修得！

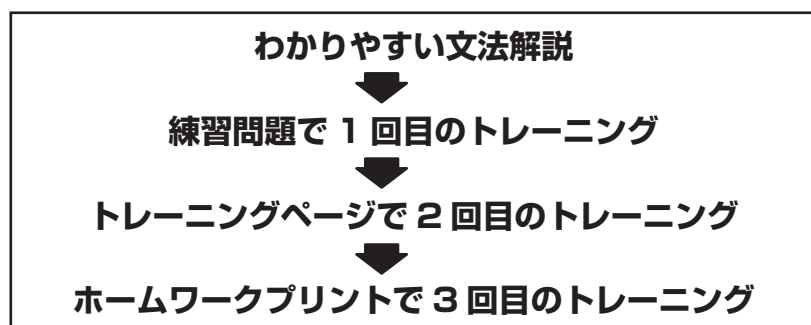
生徒にとっての英語学習における大きな壁は、be動詞と一般動詞の使い分けや、三単元のsなどです。

中学の教科書では早い段階でそれらが一度に登場するため、生徒は大きく混乱します。このテキストでは、巻末の目次でお分かりの通り、基本となる英文法をステップ・バイ・ステップ方式で、じっくりと学びます。このため英語の土台が固められ、正確な英作文が素早く書けるようになります。

#### ③家庭学習用プリント（ホームワークプリント）も付属，徹底した繰り返しトレーニングにより，基本英文法をマスター！

英語のマスターには地道な繰り返し練習が必須です。また、授業後に行う、家庭での復習も重要です。本書では次のような流れによって、基本英文法の完全定着を可能にしています。

〔本冊の流れ〕



Words **サキドリ英単語** 3

練習1 次の英単語にあう日本語を下の語群から選び、その記号を [ ] の中に書きましょう。右の英単語を参考にしてください。

- (1) money [ ] (2) many [ ] (3) bag [ ]  
 (4) card [ ] (5) juice [ ] (6) their [ ]  
 (7) bird [ ] (8) girl [ ] (9) my [ ]  
 (10) teacher [ ] (11) old [ ] (12) window [ ]  
 (13) three [ ] (14) room [ ] (15) father [ ]

《語群》

- |       |         |       |        |
|-------|---------|-------|--------|
| ア 3つの | イ 古い    | ウ お金  | エ ジュース |
| オ かばん | カ 少女    | キ 彼らの | ク まど   |
| ケ 私の  | コ お父さん  | サ カード | シ 鳥    |
| ス 部屋  | セ たくさんの | ソ 先生  |        |

練習2 次の日本語にあう英単語を \_\_\_\_\_ に書きましょう。

- (1) 彼女の \_\_\_\_\_ (2) 大きい \_\_\_\_\_  
 (3) ギター \_\_\_\_\_ (4) 彼の \_\_\_\_\_  
 (5) すてきな \_\_\_\_\_ (6) あなたの \_\_\_\_\_  
 (7) いくつかの \_\_\_\_\_ (8) 私たちの \_\_\_\_\_  
 (9) かわいい \_\_\_\_\_ (10) ノート \_\_\_\_\_  
 (11) たくさんの \_\_\_\_\_ (12) 新しい \_\_\_\_\_  
 (13) 手紙 \_\_\_\_\_ (14) 美しい \_\_\_\_\_  
 (15) お母さん \_\_\_\_\_

新しく習う英単語

〈p.16〉

- three [スリー] 3つの  
 some [サム] いくつかの、いくらかの  
 girl [ガール] 少女  
 juice [ジュース] ジュース  
 many [マニイ] たくさんの  
 much [マッチ] たくさんの  
 money [マニイ] お金  
 ball [ボール] ボール  
 new [ニュー] 新しい  
 big [ビッグ] 大きい  
 two [トゥー] 2つの  
 beautiful [ビューティフル] 美しい  
 card [カード] カード  
 nice [ナイス] すてきな  
 letter [レター] 手紙  
 window [ウィンドウ] まど  
 bird [バード] 鳥  
 pretty [プリティ] かわいい  
 old [オールド] 古い

〈p.17〉

- my [マイ] 私の  
 your [ユア] あなたの、あなたたちの  
 bag [バッグ] かばん  
 his [ヒズ] 彼の  
 guitar [ギター] ギター  
 her [ハー] 彼女の  
 mother [マザー] お母さん  
 our [アウア] 私たちの  
 father [ふアーザ] お父さん  
 their [ゼア] 彼らの  
 computer [コンピュータ] コンピュータ  
 racket [らケット] ラケット  
 teacher [ティーチャ] 先生  
 notebook [ノートブック] ノート  
 room [ルーム] 部屋





# サキドリ英単語 4

## 新しく習う英単語

練習1 次の英単語にあう日本語を下の語群から選び、その記号を [ ] の中に書きましょう。右の英単語を参考にしてください。

- (1) is [ ] (2) it [ ] (3) busy [ ]  
 (4) black [ ] (5) run [ ] (6) speak [ ]  
 (7) very [ ] (8) he [ ] (9) she [ ]  
 (10) we [ ] (11) I [ ] (12) fast [ ]  
 (13) eat [ ] (14) you [ ] (15) hard [ ]

### 《語群》

- |      |         |          |        |
|------|---------|----------|--------|
| ア 速く | イ いる、ある | ウ 黒い     | エ 食べる  |
| オ 私は | カ 走る    | キ とても    | ク 私たちは |
| ケ 話す | コ あなたは  | サ いそがしい  | シ それは  |
| ス 彼は | セ 彼女は   | ソ 一生けん命に |        |

練習2 次の日本語にあう英単語を \_\_\_\_\_ に書きましょう。

- (1) 彼らは \_\_\_\_\_ (2) 上手に \_\_\_\_\_  
 (3) 食べる \_\_\_\_\_ (4) 持っている \_\_\_\_\_  
 (5) 話す \_\_\_\_\_ (6) サッカー \_\_\_\_\_  
 (7) とても \_\_\_\_\_ (8) 速く \_\_\_\_\_  
 (9) 一生けん命に \_\_\_\_\_ (10) 白い \_\_\_\_\_  
 (11) 彼女は \_\_\_\_\_ (12) する \_\_\_\_\_  
 (13) 走る \_\_\_\_\_ (14) 立つ \_\_\_\_\_  
 (15) いる、ある \_\_\_\_\_

### 〈p.18〉

- run [ラン] 走る  
 eat [イート] 食べる  
 white [ホワイト] 白い  
 fast [ファスト] 速く  
 very [ヴェリ] とても  
 you [ユー]  
 あなたは、あなたたちは  
 she [シー] 彼女は  
 speak [スピーク] 話す  
 busy [ビズイ] いそがしい  
 hard [ハード] 一生けん命に  
 well [ウェル] 上手に  
 I [アイ] 私は  
 black [ブラック] 黒い  
 he [ヒー] 彼は  
 have [ハウ] 持っている  
 play [プレイ] する  
 soccer [サッカー] サッカー

### 〈p.19〉

- is [イズ] いる、ある、です  
 am [アム] いる、ある、です  
 are [アー] いる、ある、です  
 stand [スタンド] 立つ  
 we [ウィー] 私たちは  
 it [イット] それは  
 they [ゼイ]  
 彼らは、彼女らは、それらは

# ① 名詞を飾る形容詞などのことば

## 1 数や量を表すことば

名詞の前につき、数や量を表す次のようなことばをおぼえましょう。

- ① 数を表すことば  
 〈例〉 **three** boys (3人の少年)
- ② **some** 《いろいろな名詞につき、数や量が少しあることを表す。》  
 〈例〉 **some** girls (何人かの少女), **some** juice (いくらかのジュース)
- ③ **many** と **much** 《「たくさんの」という意味を表す。**many** は数えられる名詞につき、**much** は数えられない名詞につく。》

some や many に続くことばが「数えられる名詞」なら、語尾に s がつきます。

- 〈例〉 **many** oranges (たくさんのオレンジ)  
**much** milk (たくさんのミルク)



### 練習1 次の日本語を英語にしましょう。

- (1) たくさんのお金 (money) \_\_\_\_\_
- (2) たくさんのボール (ball) \_\_\_\_\_
- (3) 3個のりんご (apple) \_\_\_\_\_
- (4) いくらかのミルク (milk) \_\_\_\_\_
- (5) たくさんの少女 (girl) \_\_\_\_\_
- (6) 何人かの少年 (boy) \_\_\_\_\_

## 2 名詞を飾る形容詞

new (新しい), big (大きい) のような「名詞をくわしく説明することば」を**形容詞**といいます。形容詞など、名詞を飾ることばの順序は次の通りです。

1台の 新しい 車  
**a new car**

・ a (an)  
 ・ the  
 ・ this

+

形容詞

+

名詞

〈その他の例〉

- ・ two **beautiful** cards (2枚の美しいカード)
- ・ this **nice** letter (このすてきな手紙)
- ・ much **cold** water (たくさんの冷たい水)

### 練習2 次の英単語を正しい順に並べ、\_\_\_\_\_に書きましょう。

- (1) window, the, big → \_\_\_\_\_
- (2) bird, pretty, this → \_\_\_\_\_
- (3) old, an, bike → \_\_\_\_\_
- (4) those, mountains, big → \_\_\_\_\_

# 2

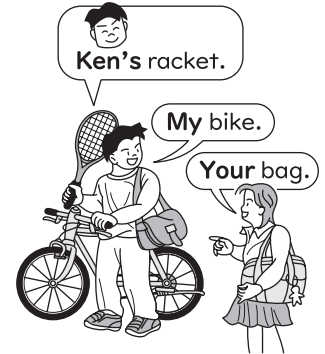
## 「所有」(～の)を表すことば

「私の～」 「あなたの～」 など、<sup>しよゆう</sup>所有を表すことばを<sup>しよゆうかく</sup>所有格といい、次のようなことばがあります。

所有格	例
<b>my</b> 私の	<b>my bike</b> 私の 自転車
<b>your</b> *1 あなたの	<b>your bag</b> あなたの かばん
<b>his</b> 彼の	<b>his guitar</b> 彼の ギター
<b>her</b> 彼女の	<b>her mother</b> 彼女の お母さん

所有格	例
<b>our</b> 私たちの	<b>our house</b> 私たちの 家
<b>your</b> *1 あなたたちの	<b>your father</b> あなたたちの お父さん
<b>their</b> 彼ら(彼女ら)の	<b>their computer</b> 彼ら(彼女ら) コンピュータ

<b>Ken's</b> *2 ケンの	<b>Ken's racket</b> ケンの ラケット
------------------------	---------------------------------



\*1 your は「あなたの」と「あなたたちの」のどちらの場合でも使います。

\*2 Ken's の「'」の記号は [アポストロフィ] といい、「s」 [アポストロフィ・エス] で「～の」という意味を表します。

### 練習1 次の英単語にあう日本語を○で囲みましょう。

- your teachers  
(あなたたちの1人の先生・私の先生たち・あなたの先生たち)
- Bob's pencil  
(ボブのたくさんのえんぴつ・ボブたちのえんぴつ・ボブのえんぴつ)
- your bike  
(あなたたちの何台かの自転車・あなたの自転車・あなたの何台かの自転車)
- their house  
(彼らの家・彼らの何軒かの家・彼の1軒の家)

### 練習2 次の日本語を英語にしましょう。

- |                               |                                 |
|-------------------------------|---------------------------------|
| (1) あなたたちのお母さん (mother) (単数)  | (2) 彼のラケット (racket) (単数)        |
| (3) 私の本 (book) (複数)           | (4) 彼女のノート (notebook) (複数)      |
| (5) 私たちの家 (house) (単数)        | (6) ボブ (Bob) のギター (guitar) (単数) |
| (7) 彼らのお父さん (father) (単数)     | (8) あなたの自転車 (bike) (単数)         |
| (9) リカ (Rika) のかばん (bag) (複数) | (10) ぼくの部屋 (room) (単数)          |

## 1 品詞

1つ1つのことばを、そのはたらきなどに分けて区別したものを品詞ひんしといいます。英語の学習を進めるにあたっては、次の品詞について理解しておきましょう。

- ① **名詞** めいし …ものの名前を表す。 〈例〉 dog (犬), apple (りんご)  
 ② **動詞** どうし …動作などを表す。 〈例〉 run (走る), eat (食べる)  
 ③ **形容詞** けいようし …名詞の様子を表す。 〈例〉 big (大きい), white (白い)  
 ④ **副詞** ふくし …動詞・形容詞の様子を表す。 〈例〉 fast (速く), very (とても)  
 ⑤ **代名詞** だいめいし …名詞の代わりをする。 〈例〉 you (あなたは), she (彼女は)

**練習1** 次の品詞にあてはまる単語を下の語群ごぐんから2つずつ選び、( )に記号を書きましょう。

- (1) 名詞 (           ,           )      (2) 動詞 (           ,           )      (3) 形容詞 (           ,           )  
 (4) 副詞 (           ,           )      (5) 代名詞 (           ,           )

## 《語群》

<small>スピーク</small> ア speak (話す)	<small>ビズイ</small> イ busy (いそがしい)	<small>ハード</small> ウ hard (一生けん命に)	エ box (箱)
<small>ウェル</small> オ well (上手に)	カ cat (ねこ)	<small>アイ</small> キ I (私は)	<small>ブラック</small> ク black (黒い)
<small>ヒー</small> ケ he (彼は)	<small>ハヴ</small> コ have (持っている)		

## 2 英語の語順 (単語を並べる順序)

英語の語順ごじゆんの基本は、〔主語(~は) + 動詞(~する) + ~.〕です。日本語とは異なるので、英語を学ぶときは頭を切りかえましょう。

〈例〉 **主語**    **動詞**  
 I    play    soccer.  
 私は    する    サッカーを



## 日本語の語順

動詞じゆつご (述語) は最後にきます。

**主語**                      **動詞 (述語)**  
 私は    サッカーを    する

**練習2** 次の日本語を英語の語順に並べかえましょう。

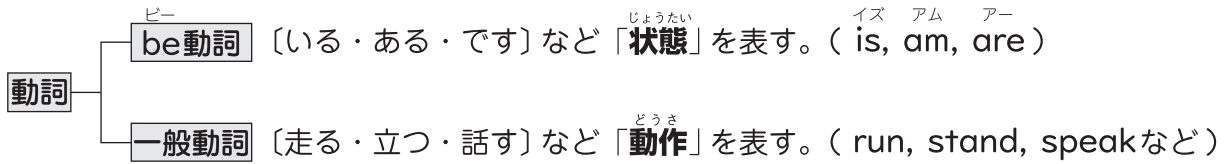
- (1) タロは / 海で / 泳ぐ / 。                      (2) エリカは / ここに / いるよ / 。  
 [            /            /            ]。      [            /            /            ]。  
 (3) 空に / 星が / 光る / 。                      (4) そこに / 川が / ある / 。  
 [            /            /            ]。      [            /            /            ]。  
 (5) 低く / 飛ぶ / トンボが / 。                      (6) 医者で / 父は / ある / 。  
 [            /            /            ]。      [            /            /            ]。

# 4

# 動詞と主格の代名詞

## 1 動詞

英語の動詞は次のように2種類に分かれ、それぞれ使い方や、疑問文などの作り方がちがいます。



**練習1** 下の語群の単語をbe動詞と一般動詞に分け、( )に記号を書きましょう。

- (1) be動詞 ( ) (2) 一般動詞 ( )

《語群》

ア speak    イ are    ウ stand    エ am    オ run    カ is

## 2 主格の代名詞

主語に用いる代名詞を**主格**といい、下の表のようなことがあります。

	単数	複数
一人称 (自分)	I 私は	we 私たちは
二人称 (話し相手)	you あなたは	you あなたたちは
三人称 (自分と話し相手 以外の人やもの)	he 彼は    she 彼女は    it それは	they 彼らは、彼女らは それらは

### 英語における 代名詞の役割

英語ではふつう、同じ名詞をくり返し使いません。2度目からは代名詞を使います。

《例》

1度目    2度目  
Bob → he  
ボブ    彼

1度目    2度目  
a bike → it  
自転車    それ

**練習2** 次の(1)~(12)を、主格の代名詞(1語)に直しましょう。

- (1) 彼は \_\_\_\_\_
- (2) 彼らは \_\_\_\_\_
- (3) 私は \_\_\_\_\_
- (4) 私たちは \_\_\_\_\_
- (5) あなたは \_\_\_\_\_
- (6) それらは \_\_\_\_\_
- (7) Tom and \* I \_\_\_\_\_
- (8) you and Jun \_\_\_\_\_
- (9) this box \_\_\_\_\_
- (10) Jun and Miho \_\_\_\_\_
- (11) my mother \_\_\_\_\_
- (12) your father \_\_\_\_\_

\* A and B ... AとB (andは「〜と」という意味です。)

**TRY①** 次の日本語にあう英語を \_\_\_\_\_ に書きましょう。なお、英単語は下の語群を参考にしてください。(5点×6=30点)

- |                     |                       |                      |
|---------------------|-----------------------|----------------------|
| (1) たくさんの水<br>_____ | (2) いくらかのミルク<br>_____ | (3) たくさんのお金<br>_____ |
| (4) たくさんの鳥<br>_____ | (5) 何人かの少女<br>_____   | (6) 3台の自転車<br>_____  |

《語群》

much, some, three, many / milk, bike, water, girl, bird, money

**TRY②** 英語の語順に注意して、次の日本語にあう英語を \_\_\_\_\_ に書きましょう。なお、英単語は下の語群を参考にしてください。(5点×8=40点)

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| (1) かわいい その 鳥<br>_____   | (2) あれらの 大きな 山々<br>_____ |
| (3) 古い あの 本<br>_____     | (4) この 古い 自転車<br>_____   |
| (5) 大きな 1つの 卵<br>_____   | (6) 1匹の かわいい ねこ<br>_____ |
| (7) すてきな これらの 本<br>_____ | (8) 大きな これらの 木々<br>_____ |

《語群》

a, an, the, this, that, these, those / pretty, old, big, nice / cat, egg, mountain, bird, bike, tree, book

**TRY③** 次の日本語にあう英語を \_\_\_\_\_ に書きましょう。なお、英単語は下の語群を参考にしてください。(5点×6=30点)

- |                      |                    |                         |
|----------------------|--------------------|-------------------------|
| (1) あなたの部屋<br>_____  | (2) 彼の本<br>_____   | (3) あなたたちのお父さん<br>_____ |
| (4) トムのラケット<br>_____ | (5) 私の自転車<br>_____ | (6) 私たちの犬<br>_____      |

《語群》

my, your, his, our, Tom / racket, father, bike, dog, book, room

TRY1

次の品詞にあてはまる単語を下の語群から2つずつ選び、( )に記号を書きましょう。(5点×5=25点)

- (1) 名詞 ( , )                      (2) 動詞 ( , )                      (3) 形容詞 ( , )  
 (4) 副詞 ( , )                      (5) 代名詞 ( , )

《語群》

ア big    イ speak    ウ dog    エ fast    オ run    カ you    キ she    ク black    ケ very  
 コ box

TRY2

次の日本語を英語の語順に並べかえましょう。(4点×5=20点)

- (1) ミチは / あそこに / いるよ /。 → [                      /                      /                      ]。  
 (2) 高く / 飛ぶ<sup>と</sup> / 鳥が /。 → [                      /                      /                      ]。  
 (3) エミは / プールで / 泳ぐ<sup>およ</sup> /。 → [                      /                      /                      ]。  
 (4) 空に / 星が / かがやく /。 → [                      /                      /                      ]。  
 (5) 春に / 桜が / 咲く<sup>さくら</sup> /。 → [                      /                      /                      ]。

TRY3

下の語群の単語をbe動詞と一般動詞に分け、( )に記号を書きましょう。

(5点×2=10点)

- (1) be動詞 (                      )                      (2) 一般動詞 (                      )

《語群》

ア eat                      イ are                      ウ run                      エ is                      オ am                      カ speak

TRY4

次の(1)~(15)を、主格の代名詞(1語)に直しましょう。(3点×15=45点)

- |                                     |                                      |                                     |                                   |
|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| (1) this pen<br>.....<br>.....      | (2) this girl<br>.....<br>.....      | (3) my father<br>.....<br>.....     | (4) Ken and Bob<br>.....<br>..... |
| (5) 私は<br>.....<br>.....            | (6) you and Mari<br>.....<br>.....   | (7) あなたは<br>.....<br>.....          | (8) Miho and I<br>.....<br>.....  |
| (9) many bikes<br>.....<br>.....    | (10) that mountain<br>.....<br>..... | (11) your father<br>.....<br>.....  | (12) that girl<br>.....<br>.....  |
| (13) Mika's books<br>.....<br>..... | (14) you and I<br>.....<br>.....     | (15) Tom's racket<br>.....<br>..... |                                   |

基礎 3 英文作りの

# 中学英語へのかけ橋 〈本体目次〉

## ステップ1 アルファベットと単語の読み方

①アルファベットの読み方	2
②アルファベットの書き方	3
③単語の中でのアルファベットの発音	4
④いろいろな発音のルール	5
トレーニング1・2	6

## ステップ2 名詞

サキドリ英単語1・2	8
①いろいろな名詞とa(an)	10
②名詞の複数形	11
③名詞を飾ることば the, this, that	12
トレーニング3	13

## ステップ3 英文作りの基礎

サキドリ英単語3・4	14
①名詞を飾る形容詞などのことば	16
②「所有」(～の)を表すことば	17
③品詞の知識と英語の語順	18
④動詞と主格の代名詞	19
トレーニング4・5	20

## ステップ4 be 動詞の基本

サキドリ英単語5・6	22
①be 動詞の基本	24
②be 動詞の肯定文	25
③be 動詞の否定文	26
④be 動詞の疑問文	27
トレーニング6・7	28

## ステップ5 be 動詞の総まとめ

サキドリ英単語7・8	30
①be 動詞の疑問文とその答え方	32
②前置詞を含む be 動詞の文	33
トレーニング8・9	34

## ステップ6 一般動詞

サキドリ英単語9・10	36
①一般動詞の肯定文	38
②一般動詞の否定文	39
③一般動詞の疑問文	40
④be 動詞と一般動詞の文の形	41
トレーニング10・11	42

## ステップ7 〔一般動詞〕三人称・単数の文

サキドリ英単語11・12	44
①〔一般動詞〕三人称・単数の肯定文	46
②〔一般動詞〕三人称・単数の否定文, 疑問文	47
③代名詞の目的格	48
④所有代名詞・代名詞のまとめ	49
トレーニング12～15	50

## ステップ8 助動詞 can, 命令文

サキドリ英単語13・14	54
①助動詞 can〔肯定文・否定文〕	56
②助動詞 can〔疑問文〕	57
③命令文	58
④命令文〔否定・Let's ~〕	59
トレーニング16・17	60

## ステップ9 副詞・形容詞, 疑問詞

サキドリ英単語15・16	62
①副詞と形容詞	64
②疑問詞 what, who	65
③疑問詞 when, where	66
④疑問詞 which, how	67
トレーニング18・19	68

※紙面は製作中のものになります。